

科目名	刑法総論Ⅰ	
担当者	杉山 和之 / SUGIYAMA, Kazuyuki	
科目情報	法律 / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	刑法総論における構成要件該当性、修正形式について学ぶ。授業では、その項目に関する具体例を用意するので、それについて全員で検討をしながら進めていく。
	到達目標	新聞やニュースを読んだときに、その事件にどのような論点が存在するのかを分析することができるようになる。それによって、その犯罪の原因は何か、何が問題なのかがわかるようになる。
授業計画	(1) 刑法総論とは何か (2) 構成要件該当性 (3) 法人と犯罪 (4) 作為犯と不作为犯 (5) 故意 (6) 過失 (7) 因果関係 (8) 事実の錯誤 (9) 未遂・不能犯 (10) 共犯 (11) 共同正犯 (12) 間接正犯 (13) 教唆犯 (14) 幫助犯 (15) まとめ	
自学自習	事前学習	ニュースや新聞などに注目する。
	事後学習	授業で取り上げた内容を身近なものとして常に意識する。
使用教材・参考文献	【教】 船山泰範『刑法学講和 総論』(2010年成文堂)。 さらに、講義前に毎回プリントを配布する。 【参】 ポケット六法(有斐閣)、デイリー六法(三省堂)など。	
成績評価方法と基準	定期試験の結果で判定する。	
備考	質問などがあれば、いつでも受け付ける。授業後、学校外、メールなどによる質問の受け付けも常時行う。	